

## 主要建設資材需給・価格動向調査結果

<建設資材モニター調査：平成27年12月1～5日現在>

国土交通省土地・建設産業局  
建設市場整備課 労働資材対策室  
課長補佐 岩館 (内線24863)  
三森 (内線24864)  
(電話) 03-5253-8111 [代表]  
03-5253-8283 [直通]  
(FAX) 03-5253-1555  
ホームページアドレス <http://www.mlit.go.jp>

- 本調査結果は、平成27年12月1～5日に調査を行ったものです。
- 本調査では、生コン、鋼材、木材など7資材13品目について、価格、需給、在庫等の動向を調査しています。

### 1. 全国における建設資材の動向

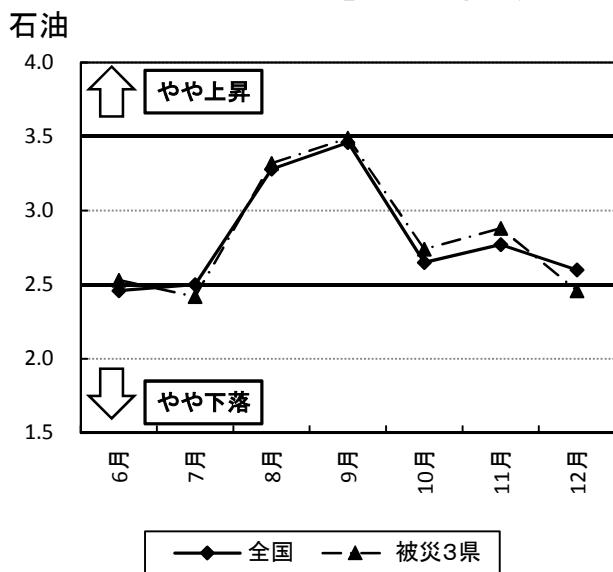
- 【価格動向】全ての資材が、“横ばい”。
- 【需給動向】全ての資材が、“均衡”。
- 【在庫状況】全ての資材が、“普通”。

### 2. 被災3県における建設資材の動向

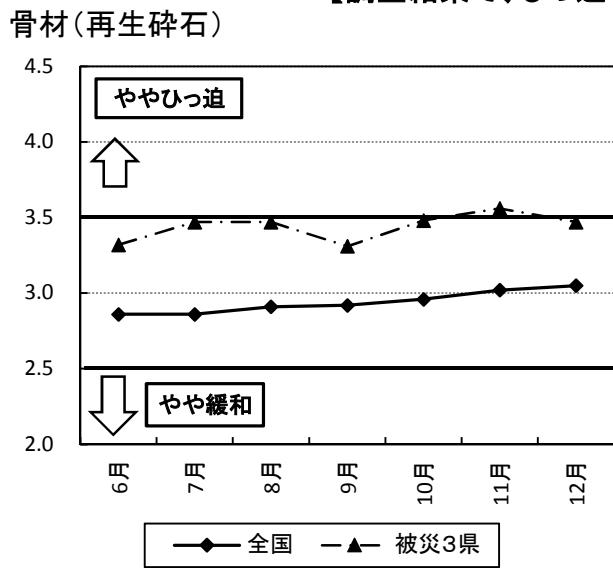
被災3県（岩手県、宮城県、福島県）における建設資材の動向は、次のとおりです。

- 【価格動向】石油が、“やや下落”。  
その他の資材は、“横ばい”。
- 【需給動向】全ての資材が、“均衡”。
- 【在庫状況】骨材（再生碎石）は、“やや品不足”。

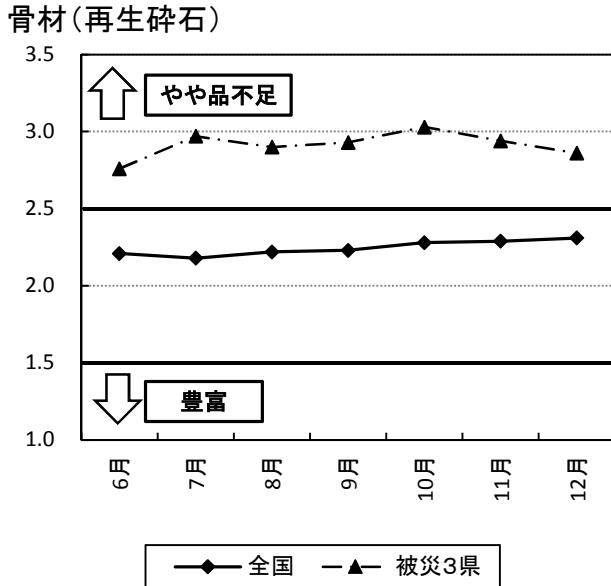
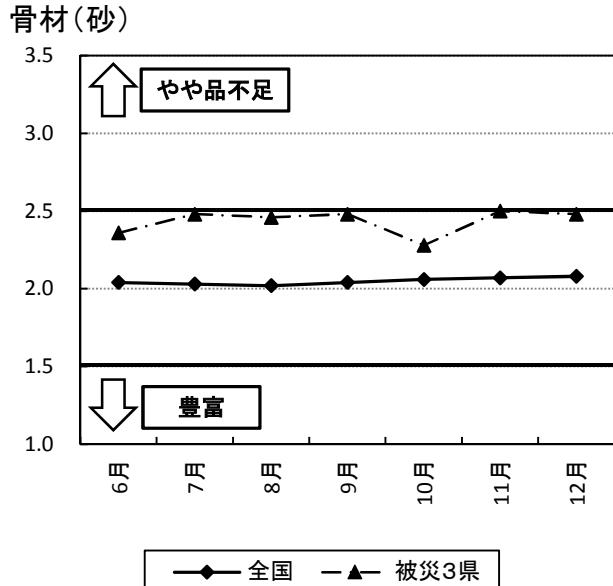
## 価格動向の推移 【調査結果で、上昇・下落傾向が見られた資材】



## 需給動向の推移 【調査結果で、ひっ迫・緩和傾向が見られた資材】



## 在庫状況の推移 【調査結果で、品不足傾向等が見られた資材】



### 3. 調査の概要

#### <調査の目的>

主要建設資材需給・価格動向調査（建設資材モニター調査）は、建設工事に必要な主要建設資材の需給、価格、在庫の変動状況を資材別・地域別に毎月把握することにより、建設資材の需給並びに価格の安定化対策を図る基礎資料とし、建設事業の円滑な推進を図ることを目的としている。

#### <調査対象地域及び調査対象業者>

##### 1) 調査対象地域

北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州・沖縄の10地域

※東日本大震災における建設資材の需給・価格動向を把握するため、当面の間、被災3県（岩手県・宮城県・福島県）での集計を実施。

##### 2) 調査対象業者

建設資材の供給側（生産者、商社、問屋、販売店、特約店）と需要側（建設業者）から約2,000社のモニターを選定し、調査を実施している。

#### <調査対象資材> 7資材13品目

- 1) セメント 普通ポルトランド・バラ物
- 2) 生コンクリート 建築用 (21N/mm<sup>2</sup>-18cm-25mm)
- 3) 骨材 ①砂、②砂利、③碎石、④再生碎石
- 4) アスファルト合材 ①密粒度アスコン13（新材）  
②密粒度アスコン13（再生材）
- 5) 鋼材 ①異形棒鋼 (SD295A) D16  
②H形鋼 (200×100×5.5×8mm)
- 6) 木材 ①杉正角・特1等 (3.0m×10.5×10.5cm)  
②型枠用合板・輸入品 (12.0×900×1,800mm)
- 7) 石油 軽油1、2号

#### <調査項目>

各調査対象資材について、以下の項目等についての調査を実施している。

- (1) 現在及び将来(3ヶ月先)の価格動向(下落・やや下落・横ばい・やや上昇・上昇)
- (2) 現在及び将来(3ヶ月先)の需給動向(緩和・やや緩和・均衡・ややひっ迫・ひっ迫)
- (3) 現在の在庫状況(豊富・普通・やや品不足・品不足)

表—1

**価格・需給動向及び在庫状況別 都道府県数**  
 <平成27年12月1~5日現在>

資材名称・規格		セメント	生コン	骨 材				アスファルト合材		異形棒鋼	H形鋼	木 材		石油
		バラ物	21N/mm <sup>2</sup>	砂	砂 利	碎 石	再生碎石	新 材 密粒度 アスコン	再生材 密粒度 アスコン	D16	'200 × 100	製 材	合 板	軽油 1,2号
調査月現在の価格動向	1.0~1.5 (下 落)													
	1.6~2.5 (やや下落)											(2) 12	5	(2) 20
	2.6~3.5 (横ばい)	(46) 47	(44) 46	(46) 46	(47) 47	(47) 47	(47) 47	(47) 47	(47) 47	(44) 35	(44) 42	(47) 46	(45) 47	(45) 27
	3.6~4.5 (やや上昇)	(1) 1	(3) 1	(1) 1	(1) 1						(1)			(2)
	4.6~5.0 (上 昇)													
調査月現在の需給動向	1.0~1.5 (緩 和)													
	1.6~2.5 (やや緩和)	(3) 2	(5) 3	(1) 2	(2) 2	(3) 3	(1) 2	(8) 17	(7) 13	(1) 5	(2) 4	(2) 1	(2) 2	4
	2.6~3.5 (均 衡)	(44) 45	(40) 44	(42) 45	(42) 43	(44) 44	(40) 42	(38) 30	(39) 34	(46) 42	(45) 43	(45) 46	(45) 45	(47) 43
	3.6~4.5 (ややひつ迫)		(2)	(4)	(3)		(6)	(1)	(1)					
	4.6~5.0 (ひつ迫)						2	3						
調査月現在の在庫状況	1.0~1.5 (豊 富)	— —	— —	1	1			— —	— —	1	1	1	1	— —
	1.6~2.5 (普 通)	— —	— —	43	44	46	37	— —	— —	42	40	39	42	— —
	2.6~3.5 (やや品不足)	— —	— —	3	1	1	10	— —	— —					— —
	3.6~4.0 (品不足)	— —	— —		1			— —	— —					— —

注1) 現在の価格・需給動向のカッコ内の数字は、将来(3ヶ月先)の価格・需給動向の予想。

注2) 現在及び将来の価格動向は、1(下落)、2(やや下落)、3(横ばい)、4(やや上昇)、5(上昇)として、各モニターからの回答を平均した価格動向別都道府県数

注3) 現在及び将来の需給動向は、1(緩和)、2(やや緩和)、3(均衡)、4(ややひつ迫)、5(ひつ迫)として、各モニターからの回答を平均した需給動向別都道府県数。

注4) 現在の在庫状況は、1(豊富)、2(普通)、3(やや品不足)、4(品不足)として、各モニターからの回答を平均した在庫状況別都道府県数。

























